



始良・霧島エリア

高性能な 密封保存容器蓋生産装置の開発

平成24年度 補正予算事業

実施した事業の概要と成果

当社独自の自己接着性を持ったシリコーンを活かし、形状・機能面において用途別に設計したオリジナリティのある製品を多品種・少量生産可能な装置の開発を行い、高い密封精度をもつ保存容器用蓋を生産することが出来るようになった。

高い密封性を実現させ保存容器としての機能を持たせるためには、蓋と容器を密着させる技術が必要である。蓋に高精度に接着させたシリコーンの外周部をR（アール）形状にしたことにより、高い密封性の実現に有効に機能している。これにより、はめ込み型のパッキンやオーリング、接着剤を用いてパッキンを貼る一般的なシリコーンを用いた製品とは一線を画した密封保存容器となった。



密封保存容器



製造ライン



技術開発や課題解決への取り組み

多品種少量生産型の機械装置を実現すべく設計を行い、同時に生産可能な品種を従来機の3種類から5種類とし、19品種大量生産型から60品種対応可能な少量生産型を開発した。さらに装置の大きさを3分の1とするコンパクト化を達成した。焼成炉についても熱の発生源にはガスから電気ヒーター型に変更することで吹き出し温度の制御が容易となり、過熱防止も可能になった。また、炉の出入口に自動シャッターを設ける等の改良を施し、熱効率を改善することが出来た。シリコン塗布装置のコントローラー精度アップで、複雑な形状の製品化が可能となった。また、シリコンの供給装置をコンパクトで高性能にしたことで、供給時のロスを削減出来た。



密封保存容器蓋生産装置



工場外観

事業者 ジャパンポーレックス株式会社

代表者 代表取締役 上岡 佳世子

設立年月 昭和53年11月

所在地等 〒899-6301 霧島市横川町上ノ1800
本社：
〒562-0014 大阪府箕面市萱野1-1-28
TEL: 072-724-0250
FAX: 072-724-5454
E-mail: porlex@polex.co.jp
http://www.porlex.co.jp/

事業区分 ものづくり技術

資本金額 1,600万円

従業員数 46人

業種 窯業・土石製品製造業

ジャパンポーレックス株式会社の

生魂
いっだまし

代表取締役
上岡 佳世子



補助事業取り組みへのきっかけ・目的は？

市場に出回る殆どの保存容器は寸法精度や素材の面より密封性が低く、機能的に十分とは言えない。近年、消費者の本物志向が高まるなか、高性能な密封保存容器を提供することを目的とし、ユーザー各々の多岐に亘る要望にも対応可能な多品種・少量生産タイプの製品を開発することが重要であると考え、密封保存容器用蓋の生産装置の開発を行った。

今後の取り組みは？

今回新に開発した装置は多様な形態の製品を生産可能なことから、新機能を付加した蓋を開発した。焙煎したコーヒー豆を容器に入れて保存するにあたり、焙煎後に出る炭酸ガスは排出させる一方密封可能にすることにより、コーヒー豆の焙煎後の良い状態をより長い期間保つことができる蓋で、2016年春にオーストラリア、カナダ、アメリカ市場で焙煎したコーヒー豆用保存容器としてテスト販売を計画している。